

令和3年 12 月 24 日

第2学期終業式式辞

生徒の皆さんおはようございます。

今日で長かった2学期も終わり、明日から冬休みになりますね。しかし、新型コロナウイルスの影響で、昨年ほどではないかもしれませんが、外出の機会はコロナ前に比べて少なくなるのではないのでしょうか。自宅にいる時間が多いなら、できるだけ1学期2学期の学習の振り返りや3学期に向けた準備をしてほしいです。しかし時間があると、もしかするとネットを見る時間が増えるかもしれませんね。

そこで、今日は新型コロナウイルスに関わる話を少しと、情報を正しく判断するために大切な留意事項について2つのお話をしようと思います。

今日は、寒い体育館ではなくて教室で私の話を聞いていることと思いますので、少し長くなるかもしれませんが、がんばって聞いてくださいね。

今、新型コロナウイルスのオミクロン株がニュースによく出てきますね。感染力が強いようとか、感染しても重症化しにくいのではないとか、言われていますが、まだよくわかりません。本当に軽症で済むのかどうかはまだわかりませんが、たくさん感染者が出れば、その中の何人かは重症化するかもしれませんね。実際に海外では死亡例も出たようですし、まだ、わかっていないことが多いので気をつけなければなりません。引き続き感染症対策をしっかりしてください。

ワクチンについて、日本の全人口の8割近い人が接種を済ませたそうなので、皆さんの多くも2回接種したことと思います。皆さんの中には、この先3回目の接種が必要かどうか、考えている人がいるかもしれませんね。政府・厚生労働省のホームページではワクチンの効果は時間と共に低下するが、ファイザー社のワクチンでは、3回目の接種の1ヶ月後の中和抗体の量は2回目の接種の1ヶ月後の数倍高いとしており、モデルナ社についてもほぼ同様の研究結果があるとしています。他にもいくつかの情報がありますが、ここでは省略しますので、自分でしっかり調べてください。このような公的機関が出している情報をもとに判断することが大切だと思います。もちろん、中にはアレルギーなどで体質的にワクチンが打てないとか、正しい情報を得たけれどやはり打ちたくないという人もいるかもしれません。そういった人たちがワクチンを打たないのは仕方のないことだと思います。ただ、もし間違った情報をもとに打たないとする人がいたら、それはとても残念なことです。

では、何が正しい情報で何が間違った情報なのか。これは、ワクチンや新型コロナのことだけでなく、情報をゲットし活用するときにはとても大切なことなので、次にそのことについて話をします。来年度からは18歳が成人になり、18歳になると責任が増えます。SNSなどネットとの付き合い方、情報の扱い方にますます気をつけないと、ひどいときには犯罪に巻き込まれたりします。皆さんよく聞いてくださいね。

まず、ワクチンを例にあげて考えてみたいと思います。

ワクチンに関する間違った情報にはいくつかのパターンがあるように思います。そのうちのい

くつかは次のようなものではないでしょうか。

一つめは、結構ありそうな心配。しかし、いろいろな研究機関は否定しているけれど・・・、
という場合。例えば、 mRNA ワクチンは遺伝子を書き換えて、何年か後に何か後遺症
のような症状が出るかもしれないというもの。心配な気持ちはわかります。ただ

mRNA ワクチンはヒトの DNA を書き換えたりしません。これは、高校の生物の知識
でもある程度理解できる内容のことなのです。詳しくはまたの機会にお話しします。

二つめは、悪意のある人が、例えば本を売ったり、ネットのアクセス数を増やしたりして、お
金儲けをしようと企んで、わざと間違った情報を流す場合。最初は悪意のある人が出し
た情報かもしれないが、それを信じた悪意のない人が拡散してしまう場合です。悪意が
ないどころか、善意でみんなのためにこの情報を拡散しないといけないとまで思ってし
まう人が広がってしまうとやっかいです。その人は、よかれと思ってしていますから、そ
れを見た次の人も信じてしまいやすいですね。

三つ目は、とてもあり得ないようなことを、それを本当に信じている人が情報発信し、それを
なぜか信じてしまった人が情報を拡散してしまった場合です。ワクチン陰謀論などがこ
れに当たるのではないのでしょうか。

この三つ目のことについて、もう少し話をしてみたいと思います。

世の中には、ほとんどの人が普通では考えられないと思うことを信じる人が一定の数います。
最初に注意しておきますが、その人が悪いとかそういうことはありません。どうことが
起こっているのか、しっかり理解することが大切なのです。

たとえば、幽霊や UFO について、存在するという人も存在しないという人もいますと思
います。普通にそんな話をするところがあるかと思いますが、ある程度健全なことのよう
に私は思います。夢やロマンのある話だったりすることもありますし、幽霊や UFO の話
とか好きな人もいますよね。しかしそれが、 UFO に乗ってきた宇宙人はすでに人間の皮
をかぶって人間社会に紛れ込んでいる、と真剣に信じているとかになると、だんだん怪
しくなってきます。さらに、具体的に有名人の〇〇さんは宇宙人が皮を被った人で、
地球の征服を企んで秘密裏に悪いことをしているととか真剣に信じて、気をつけろ、
みたいなことまで言い出すとますます怪しくなってきますよね。でも、そのような
一般の人があり得ないと思うことを信じる人は一定数いるのです。ワクチンを打つ
と 5 G で操られる、なんていうのもそうですね。“妄想”ということばで呼ばれる
こともあるかもしれませんが、“妄想”には、病的なものから、全く問題のない誰
もが持っているものまでいろいろな段階があります。たとえば、鳥みたいに空を飛
べるようになったら気持ちいいだろうとか、ドラえもんが家にいたらこんなことを
するのにな、とかのような普通に誰もが考える“妄想”もあります。そんなもの
から、先ほど言った、宇宙人が人間に化けて陰謀を企んでいるとかあり得ないよ
うなことを信じて疑わないとかまでいろいろな“程度”というか“例”というか
があるのです。また、認知症になった人が、本当はそんなことがないのに誰か
にお金を盗まれたとか、誰かが私を見張っているとか、言い出すような症状が
出る人もいます。認知症などでなくても、そう思ってしまう人もいます。しか
も、それ以外のところでは、全く普通の人と変わらないので、本当に誰かに見
張られているのかなと周りの人が思ってしまうような場合もあるそうです。

そのような考えになってしまっている人に、それは間違っていると指摘することはかえって逆効果になることがあります。つまり、より間違っただけ信じていることを強くしてしまうことがあるのです。「宇宙人が皮を被って人間のふりしてることなんかないよ」と言っても「やっぱりあまりこのことは知られていないんだ。もしかしたらこいつも宇宙人が皮をかぶっているのかもしれない。気をつけなければ」などと思われてしまうことすらあるのです。このような現象を**バックファイア効果**と言うそうです。否定することがかえってその人のまちがった思いや考えを強めてしまうことがあるということです。明らかに、あり得ないことを信じている人に対しては、否定も肯定もせずに聞いてあげることが、私たちにできることのようにです。専門家などでも時間をかけなければ、間違っただけを信じているということに気づいてもらうことは難しいそうです。もしも身近な人がそうになってしまったら、医師やカウンセラーなどの専門家に相談するのが良いようです。

また、間違っただけ情報を信じ込んでしまうのには、これから話すような事例もあるそうです。一つは**フィルターバブル**というものです。どういうものかという、例えば「ワクチンは〇〇の陰謀かもしれない」と思い始めている人がいるとします。その人は、ネットやSNSで「〇〇の陰謀」と検索したりします。すると、ネットでは「〇〇の陰謀の証拠が見つかった」とか、他の人のツイッターでも「〇〇の陰謀だ。証拠は××だ。」というように、その人が興味のあることが次々と画面に表示され、自分の信じていることと逆の情報はあまり表示されなかったりします。これだけたくさんの情報があるのだから間違いないと、間違っただけ情報が強化されてしまうのです。これを、まるで泡（英語でバブル）の中にいるような状況になって泡の外が見えなくなっていることにたとえて、フィルターバブルと言うそうです。それを防ぐには、公的機関の情報、新聞など既存のメディアの情報など、出所がはっきりしていて信頼できる情報にたくさん触れることが大切です。

また、SNSなどで、特定のコミュニティ内だけで情報のやりとりをしていることから起こる現象もあります。さっきの例で、「ワクチンは〇〇の陰謀だ」と信じかけている人は、「ワクチンは〇〇の陰謀」と考える人とSNSで知り合い、つながりやすくなりますよね。そういう人が何人かいてグループを作ってしまうと、もう「ワクチンは〇〇の陰謀」だという話ばかりになってしまいますよね。しかも、さっき言ったフィルターバブルとあいまって、これはもう絶対間違いないと信じてしまうのです。特定のグループ内だけの情報に凝り固まると、そのグループの外からの情報を受け付けなくなるのです。ですから、多くの人の意見を聞いたつもりが、同じ意見の人の話ばかり聞いてしまって、間違っただけ情報を信じる情報が強化されてしまうのです。自分の考えや信じていることが、エコーのように跳ね返ってくることから**エコーチェンバー現象**と言うそうです。さらにこのような場合、グループ内で意見がより過激になり、意見の違う人をひどく攻撃したりします。いわゆる“炎上”という状態が起こったりします。このように特定のコミュニティで意見が先鋭化することを、**サイバーカスケード**というそうです。

皆さん、冬休みのネットやSNSとの付き合い方について注意してうまく付き合ってくださいね。うまく付き合えば、遠く離れた人の多様な意見を聞けたりします。こんな便利なものは

ないと思います。

コロナやワクチンの情報なども、気をつけてゲットしてください。専門家と称する人にも怪しい人、あるいは間違った情報を信じ込んでいる人はいます。気をつけてください。政府やしっかりした研究機関、大手新聞などのマスメディア、しっかりした情報をゲットして、正しく自分の判断をしてください。

それから、フィルターバブルやエコーチェンバー現象、サイバーカスケードは情報空間だけの話ではないと思います。いじめが起こるときも関係していることがあります。

たとえば、〇〇さんのことをよく思っていないとか、気が合わないとか、たまたま〇〇さんが言ったことで気を悪くしたとか、そんな人たちが集まって話をしていると、自然に〇〇さんの悪口ばかりになって、〇〇さんのいいところが見えなくなる。（エコーチェンバー現象 フィルターバブル）そして誰かが〇〇さんの良いところを言ってももう聞く耳を持たない。それどころか、その良いところを話す人まで攻撃し始める。（サイバーカスケード）

実はヘイトスピーチのような現象も、このようなメカニズムが関係していることがあります。

このようなことを知っておくことは人と付き合ううえで大切だと思います。くれぐれも皆さんは偏った考えに支配されることがないように気を付けてください。正しく物事を判断する力を身に付けてください。

繰り返しますが、何が正しい情報かいろいろな情報を得て、正しく判断することに気をつけてネットやSNSと付き合ってください。そして、しっかりとコロナ対策もして健康に留意し、みんなの元気な顔を3学期に見られるように、冬休みを有意義に過ごしてください。

以上で私の話を終わります。